



いぢいぢの
お小遣いの
遊びましよう





ちよっと本気ですか!?

こんなことをして
冗談じゃ
済みませんよ!



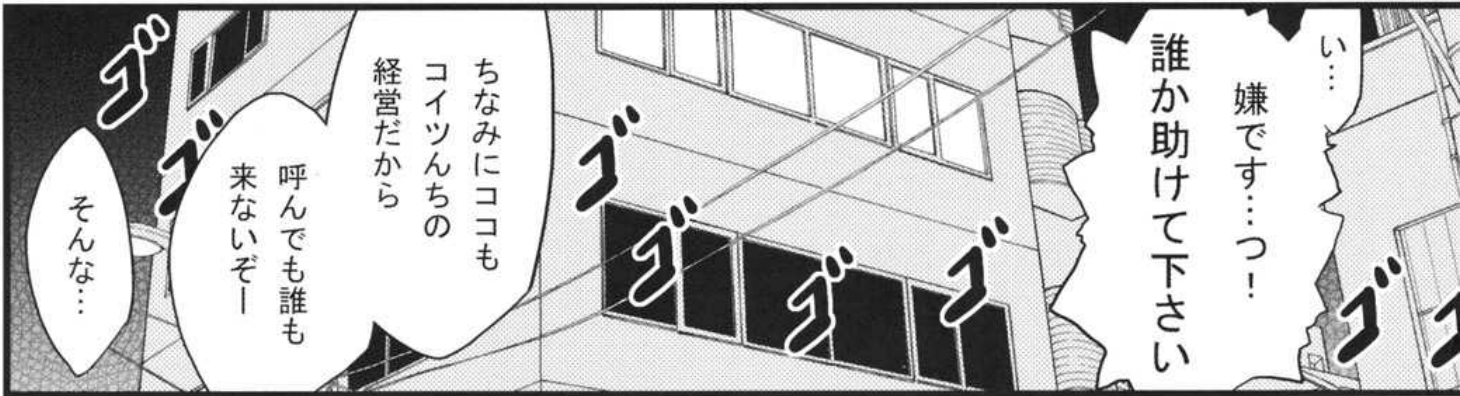
おいおい
心外だなー
夏目ちゃん

これはこの間の
スノボ旅行の
正当報酬だって



報酬って...
だって
あれは無料だって
話だったじゃ
ないですか

だからー
女の子を
連れてきたら
って話だった
でしょ?





ミッティーっ!?



なんだお前等
もう終わったのか?

ほら邪魔しちや
ダメだって夏目ちゃん

あああなた
ミッティに
何して



ぞん

私 お金
持っていないもの



待ってて
下さいミッティ
今助け——

いいよ
夏目さん



そんな…

スキー旅行の件は
さっき聞いたから

私は
このままで良い

ミ…
ミツティ…?



大丈夫だって

大島ちゃんと
ちびっこは
ちゃんとオツケー
してくれたし



でもまさか
夏目さんが
私達を売っていた
とは思わなかったけど



そんなつ
ミツティ
違…
違います
そんなつもりじゃ

ここで一人で
逃げようなんて
考えなきや

誰も夏目ちゃんが
裏切ったなんて
思わなねーって

…ほ

本当

…ですか？

おどろ



は？

おま

でもヤマケンくん
私で良かったの？



……
あんたこれから
何されるか
わかってるのか？

…一応は



ああ…
気にしてたのか

欠陥だって

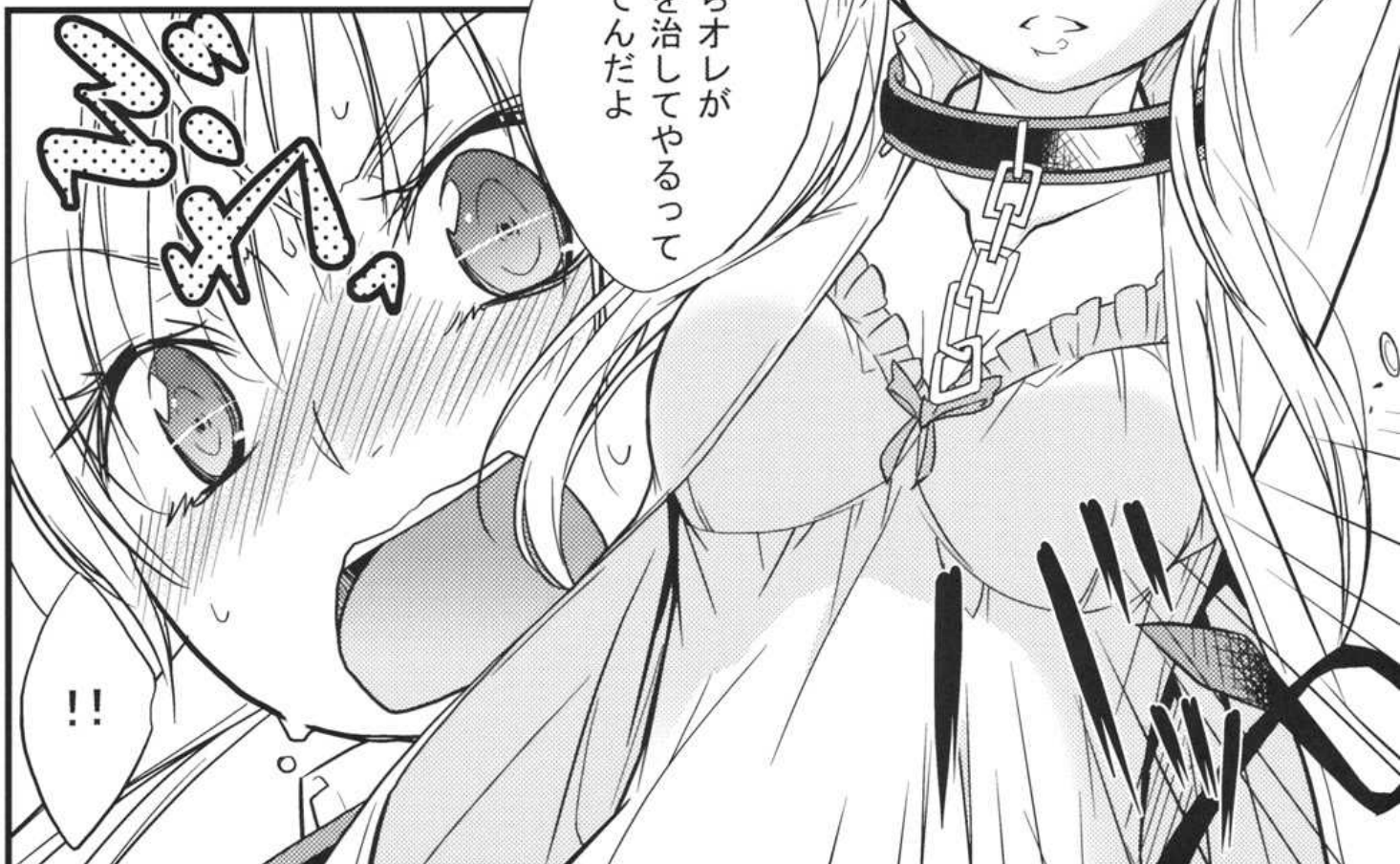
その

ほら
前に女性として



にやり

だからオレが
それを治してやるって
言ってるんだよ



!!

おま



か

みッ

見せなくていい!



んんっ

フーン

水谷サンでも
そんな顔するんだ?

仕方ないみたいなの
言い方してた割に

もみ

ちゃんと濡れてきた
みたいだけど



え

あ

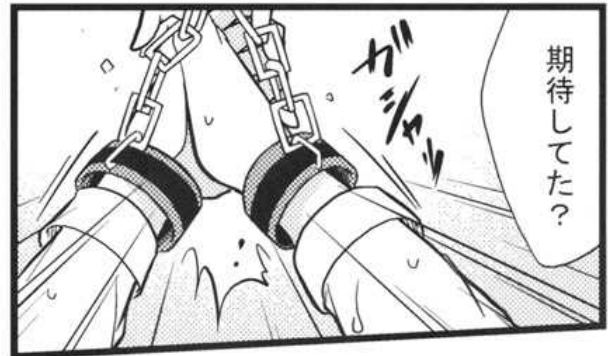
びんぽんっ



ささっ

びんぽんっ

ほら 声も
我慢するなよ

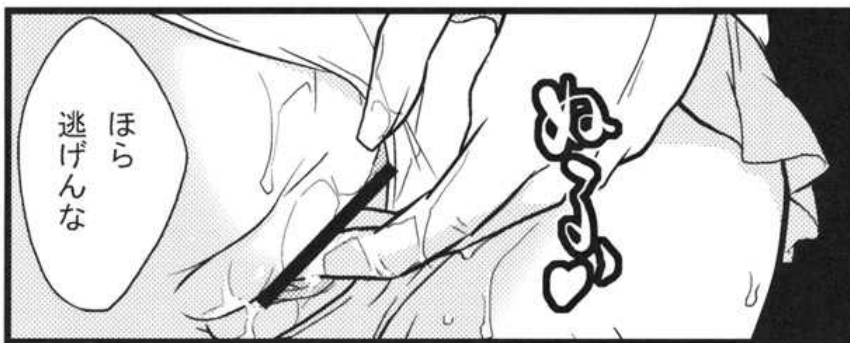


かきん

期待してた?



それとも単に
感じやすい
だけか?





あんと結構
大きいんだから

使わないなんて
勿体ないって

あっ

あ

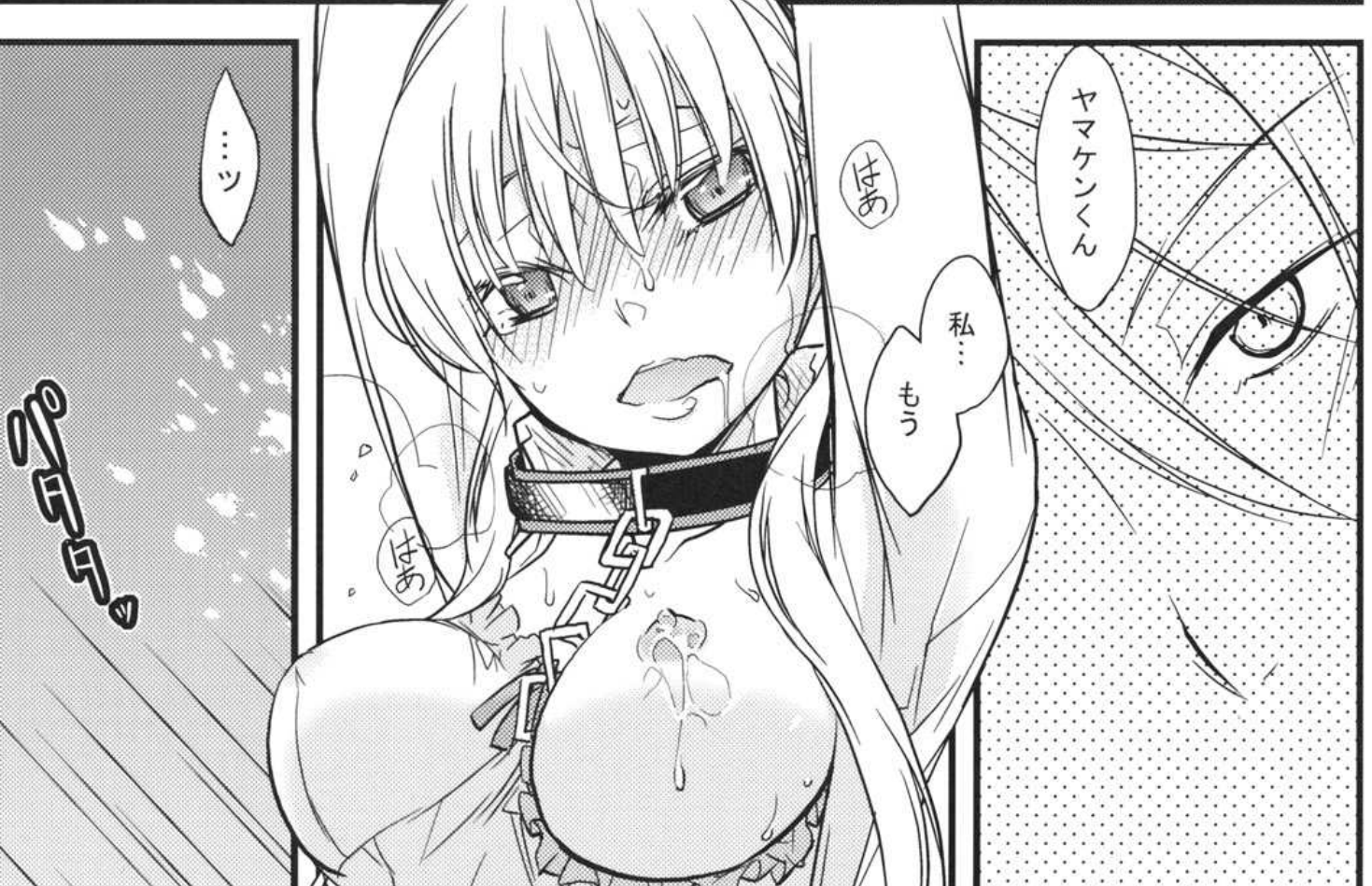
そ

あ

あ

ふあ

あ



ヤマケンくん

私...

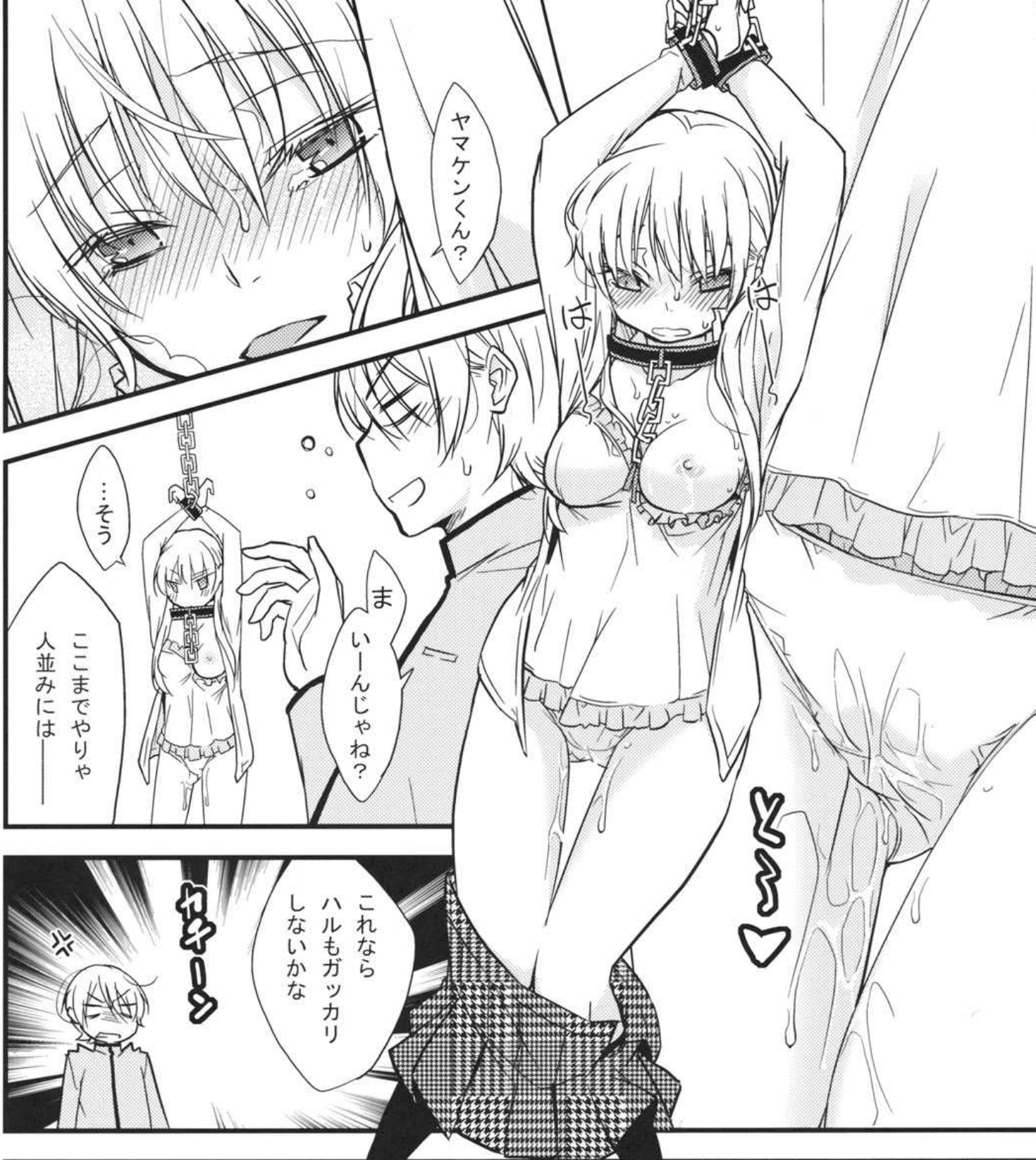
もう

あ

あ

あ...

あ



ヤマケンくん？

…そう

ま
いーんじゃね？

ここまでやりや
人並みには

キャー
キャー

これなら
ハルもガツカリ
しないかな



ほら夏目ちゃん
口開けて

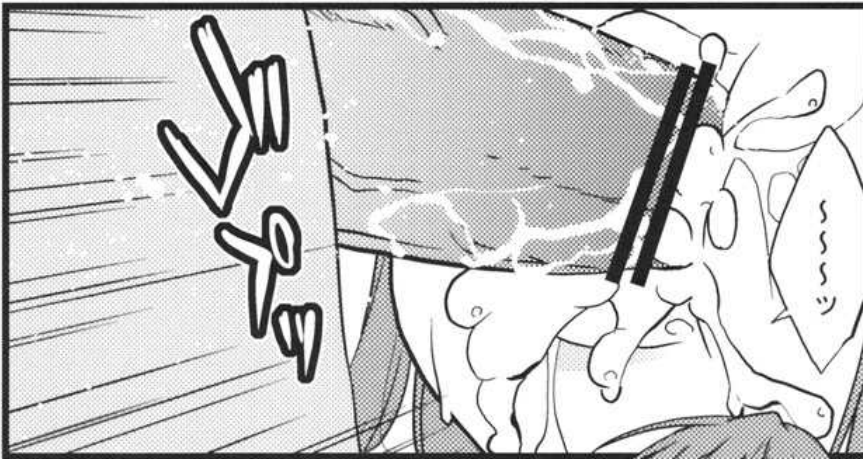
と〜♡

はは





んんうツ!!



今まで溜めた分も
一緒に
全部飲んでねー



あーあ
いっぱい
吐いちゃって
勿体ない







怖くないですよ
ミッティ

ちやんと気持ち良く
してあげますから



何言って…

大丈夫ですよ
痛くないように
しますから



ちよ
夏…
待って何か
今おかし



しっかり
準備をして
って
もうすっかり
濡れてるじゃ
ないですか



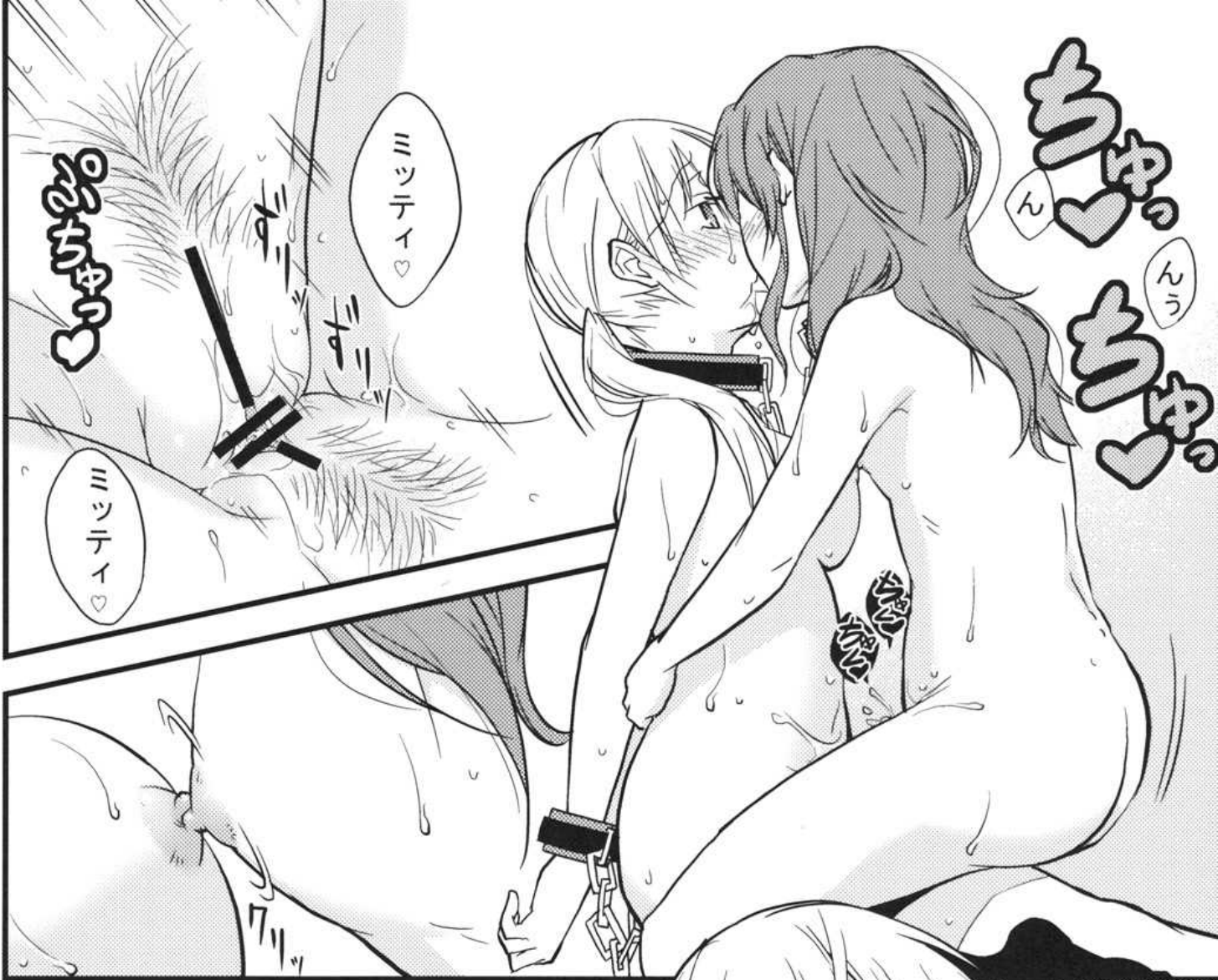
それはそれで
なんというか
シヤクですね



ふふ
ミッティ可愛い♡



わたしはミッティの
親友ですからね
気持ち良い所も
お見通しです



あ

あ…

ちよっと
ヤマケンくん
何するんですか！

初めて
なんですよ!?

だから薬
やっただろうが

優しくして
欲しけりや
ハルにでも頼め

あ♡!
ああ♡!
あ♡!
あ♡!



いいかげん
見てんのも
飽きたからさー
そろそろオレも
混ぜてよ



締めつけて離さない
のは夏目ちゃんだろ



なんだよ傷つくなー
さっきまでチンコ
大好きだったのに

言ってますん
いいから早く
抜いてください



いや...
嫌です離して
ください...

ミッティイ!
ミッティイ!



や
そんな
なにと
ゆっさ
そういえば
処女じゃなかったし



本当は男が好きで
堪らないから
嫌いなフリしてる
だけなんじゃね？
う
あ



でも今
自分から
腰振ってるぜ？

んなことないって？

そんなんじや…



おっかしいなー
夏目ちゃんは薬
飲んでないハズ
なんだけど

どうして…

やだ…っ

いいい嫌です
やめてくださいっ



ちが…っ
違います

わたし…

好き…
なんかじゃ

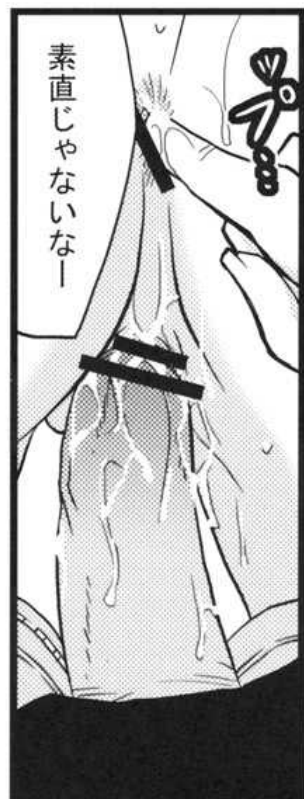


だからオレは
何もしてないって
淫乱で

チンポ大好きの
夏目ちゃん



きゅんきゅんっ
す
き…
じゃ



素直じゃないなー



動だから早く
だいて
ださいよおっっ

好きですっ♡
本当は男の人の
チンポがっ!

はっ! はっ! はっ!

よく言えました



んあ♡ あはあ♡

はっっ

はっっ

これ
好きですっ

はっ! はっ! はっ!

ほらやっぱり

男のが
良いっしょ？

はあ

はあ

はあ

そう…

ですね

今度

みっちゃんさんにも
聞いてもらいます

わたしの…
好きなもの

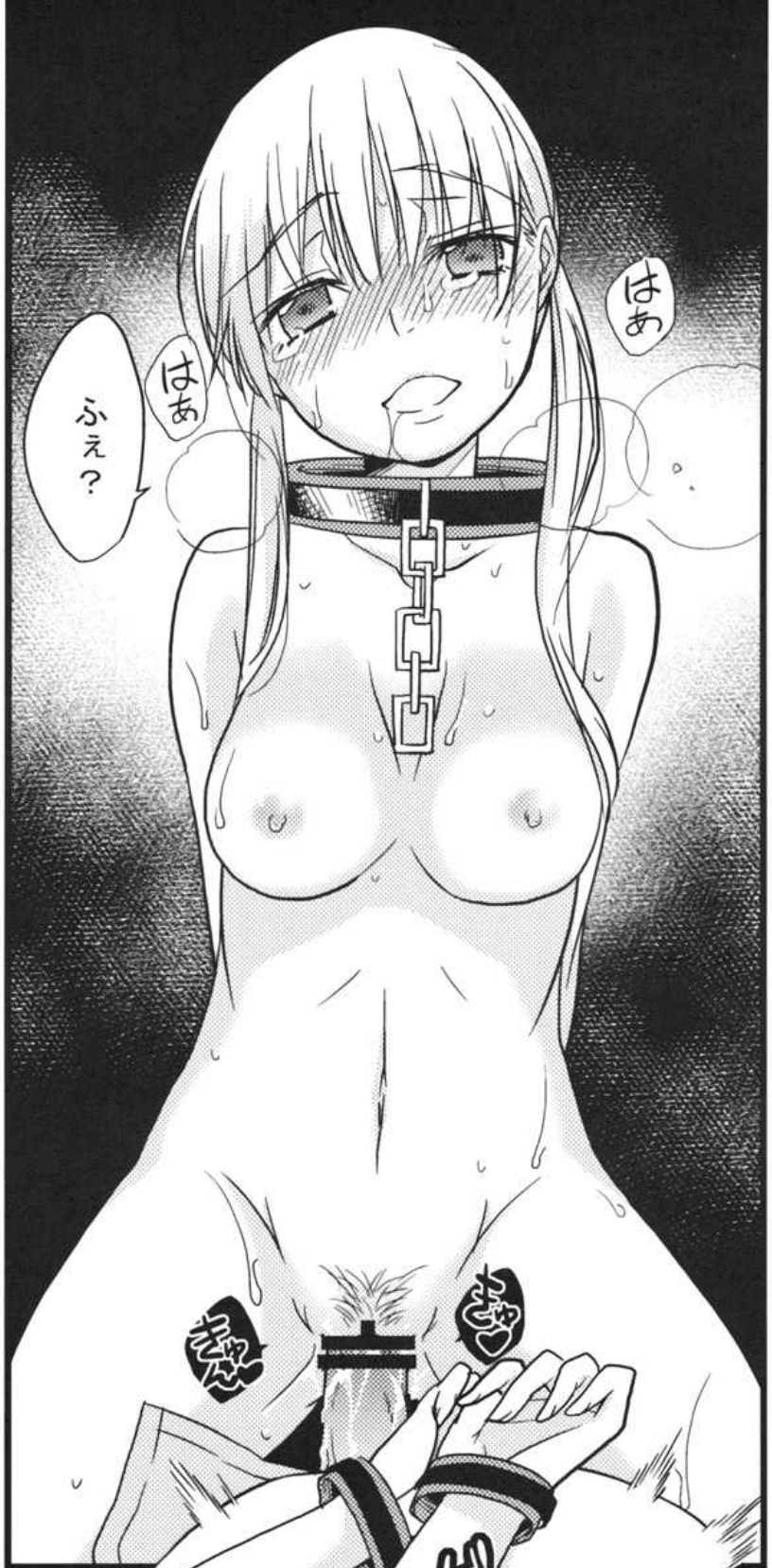
オレは!?

ツチ



なんでもねーよ
水谷サン

ああっ



ふえ？

はあ

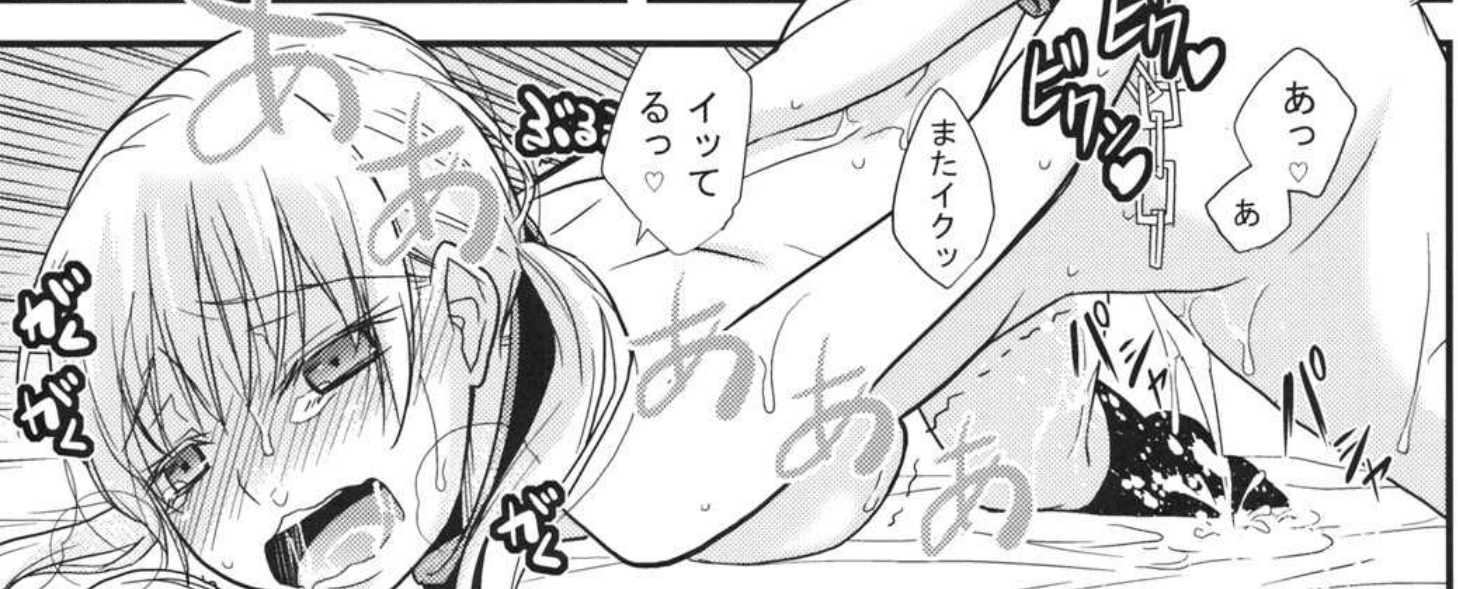
はあ



ヤマ…ケンくん
SEXって

私…
凄いのね

知らなくて



イッて
るっ♡

またイクッ

あっ♡
あ



水谷サンも…

やっぱり普通の
女だな

ハルのことが
好きっつといて
身体は誰にでも
開くのか



電話…違う

とにかく家に
帰って—



水谷サン？

びびびびびび…



どくん…

あ

ああ



そう簡単に
帰れると
思ってたのか？



離してヤマケンくん

もう良いでしょうっ

私

ハルに…



や…

ヤマケンくん
離してって言って
いるでしょう！

やめ…ッ

やだ…っ

嫌だっ！



あんたが
そうやってあいつ
ばっかり見てるから



ん…ッ！

んふっ

んんっ！！



ハ

おっと

今はあいつ
じゃなくてオレと
やってんだよ

むぐ！





2012.12.31

Tonari no Kaibutukun fanbook

お小遣いの範囲で遊びましょう

発行：とちのくに/結桐たかし

mail：kokonoki101@yahoo.co.jp

印刷：PICO

18歳未満閲覧厳禁・無断転載禁止



Tonari no
kaibutokun
fanbook

written by
tokachinokuni